

皆様、明けましておめでとうございます。

令和8年を皆様とともに迎えることが  
できましたことを、大変光榮に感じております。  
ファミリーマイホームの施設長に就任して  
から6度目の元旦となります。



こうして施設長としての責任を全うできるのも、利用者様やご家族様を含めた関係者様、そして日頃から日々従事している多くの職員の支えのおかげでございます。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

上図の写真は、一昨年の元日にファミリーマイホーム屋上の東側の初日の出の写真です。そして、屋上の西側には田園風景と富士山、そして澄みきった青空(送電塔の電線越しになりますが…)  
が広がっていました。

現在は、イオンモール株式会社が開発している「(仮称)八王子インターチェンジ北店」の建設中であり、富士山は段々と姿が隠れてしまい、原稿を執筆している12月30日現在では、山頂部分がわずかに覗ける程度となっていました。



令和6年1月1日撮影



令和7年1月1日撮影

公式発表によると、開業は今年の春とされていますので、数ヶ月の間でファミリーマイホーム周辺の地域は、良くも悪くも状況が一変していくこととなるでしょう。その変化に柔軟に対応



しながら利用者様の生活の質の向上を目指してまいります。個人的には、富士山の景観は残念でしたが、利用者様と一緒にイオンのフードコートに寄りながら散策できる日を心待ちしております。

さて、「コロナ禍」という言葉が一昔前の言葉となり、社会全体では以前同様の生活を送れるようになりました。ただ、感染症自体がなくなったわけではなく、現在もインフルエンザウイルスを代表として、様々な感染症が猛威を振るっています。高齢者福祉施設などでは、ひとたび感染が確認されると瞬く間に集団感染(クラスター)となる可能性が高いため、すべての関係者の皆様には、来園時の感染対策の徹底や、面会場所・時間の一部制限などへのご理解・ご協力を引き続きお願いしているところでございます。今後も、状況を鑑みながらではございますが、ファミリーマイホームでは、大切なご家族にいつでもどこでもお会いできる環境を継続していきたいと考えております。

また、本年も人材育成や日々の業務改善などの「介護サービスの質の向上」を最優先事項として取り組んでまいります。モノやカネなどの資源は、短期間で成果を出せる場合があります。しかし、ヒトという資源を豊かにしていくには、

長い年月をかける必要があります。おかげさまで、介護職員の安定的な定着はファミリーマイホームの大きな強みとなっておりますが、その「人材」を「人財」に育成することが重要です。「人財」とは誰からも評価され、組織からも財産と評価される職員を意味します。困難から逃げずに立ち向かう勇気と固定概念にとらわれない柔軟な思考、そしてそれを実践できる「人財」を、一人でも多く輩出できるよう様々な場面で指導育成してまいります。

ファミリーマイホームは、これからも法人理念にあるように「奉仕の精神 慈愛の心を育み 社会福祉事業で平和な社会に向けて貢献していく」 使命を担ってまいります。入所されている利用者様やご家族様、そして地域の皆様にとって、心から安心して生活していただけるよう、職員全員で努力していくことをここに一念させていただきます。

丙午(ひのえうま)の2026年は、火の力が重なる干支と言われています。皆様にとって、情熱や勢いが高まり、太陽のようにエネルギーが満ち溢れ、明るく実りある一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



令和8年元旦

社会福祉法人清心福社会ファミリーマイホーム

施設長 田代航也

